# 2025-2026 年度 河北ロータリークラブ会長挨拶

## クラブ目標

## 「ロータリーを探求し
## ロータリーを楽しもう」

Let's explore Rotary and enjoy Rotary.

河北ロータリークラブ
会長　　今城　清一

歴史ある第 2610 地区、河北ロータリークラブ 2025-2026 年度の会長の大役を務めることとなり、大変な重圧を感じているところであります。どうか会員の皆さんにはロータリーの寛容精神のもと、寛大で多大なご協力をよろしくお願いします。

昨年は１月に能登半島地震が発生し、９月には追い打ちをかけるように地震で緩んだところへ線状降水帯が発生し、大規模な豪雨災害がおこる事態となりました。河北ロータリークラブでも災害ボランティアとして、かほく市災害ボランティアの人員の送迎などを手伝わせて頂きました。まだ復旧復興が進まない状況であり、今年も昨年に引き続きできる限りの被災地応援を進めて参りたいと思います。

さて、今年の RI 会長マリオ･セザール･マルティンス･デ･カマルゴ氏は、「よいことのために　手を取りあおう」とメッセージを発信しております。ロータリー会員は単独でも成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能だと述べました。

世界中のロータリアンが手を取りあい、ポリオ撲滅に向けた歴史的な取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF などのパートナーと連携し推進されています。今後もポリオ撲滅を目指して募金、献金とロータリー活動をよろしくお願いします。

今年度スタート時の会員数は 23 名（7 月 1 日現在）です。少人数ではありますが、それ故、堅苦しさを感じない、居心地の良い例会の雰囲気を作れているのだろうと思います。でも、もう少し会員数が増えれば、より多くの奉仕活動を計画、実行できると思いますので、会員増強においてもみなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いします。

微力ではありますが、河北ロータリークラブの継続と発展に尽力いたしてまいりますので皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。